

第96回全国高校野球選手権

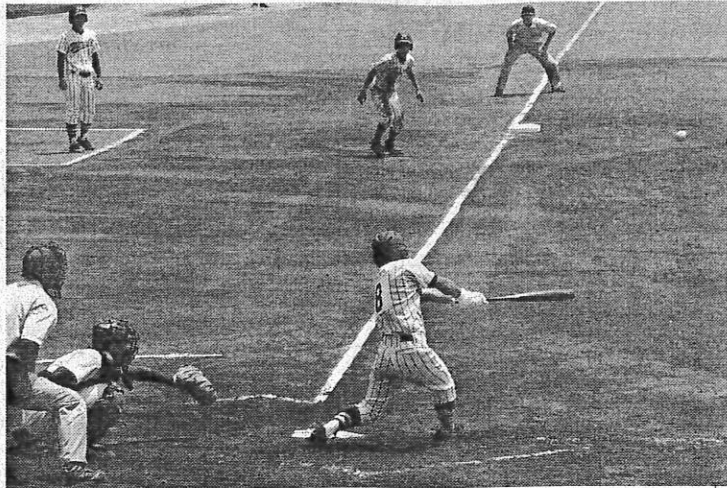
和歌山大会

昨年準優勝の南部敗退

田辺工業はコールドで

3回戦

第96回全国高校野球選手権和歌山大会は19、20日、和歌山市の紀三井寺球場で2回戦1試合と3回戦5試合があり、紀南勢の南部、田辺工業はともに3回戦で敗れた。



南部一和歌山商 南部は5回2死、三塁に走者を置いて、小松千が先制の左中間二塁打を放つ(20日、和歌山市の紀三井寺球場で)

20日

①第2試合(3回戦)	南部	0	0	0	1	0	0	1	1
和歌山商	0	0	0	0	1	4	0	0	x
	5	3							

①第3試合(3回戦)	田辺工業	0	0	1	0	0	0	0	0
市和歌山	0	3	6	2	x				
	11	1							

〔南〕松田、小山―古岡(和)名河内、吉中―山口▽三塁打―古岡(南)▽二塁打―田中、小松千(南) 南部は5回、敵失で出た庄野が前山の送りバントと田中の内野ゴロで三進し、続く小松千の左中間二塁打で生還して先制した。しかし、その裏に追いつかれ6回に4点を勝ち越された。 4点を追う8回は、先頭の古岡が右中間三塁打を放ち、小山の内野ゴロの間に生還して1点。9回も古岡の右前適

白球

南部

「頼んだぞ」 先発した南部3年の松田は6回裏2死一、三塁のピンチで、自身に代わってマウンドへ上がる3年の小山健次に声を掛けた。途中で降板するのは悔しかったが、ずっと一緒にやってきた仲間任せようと思っ

た。 松田と小山「背番号1」を担う3年の原聖人は、南部投手陣の3枚看板。監督の岡純平(28)は「それが、6回は失策も重なり、4点をリードされてしまっ

エースの自覚



エースの自覚を持ってマウンドに上がった松田

南部		打安点		
〔二〕	田中	4 1 0		
〔中〕	小松	5 2 0		
〔一〕	小栗	3 1 0		
〔打〕	栗宮	3 0 0		
〔走〕	小古	4 3 1		
〔捕〕	小久	1 1 0		
〔投〕	松田	2 1 1		
〔左〕	山田	5 3 0		
〔右〕	田嶋	3 0 0		
〔三〕	野山	4 2 0		
〔右〕	吉野	1 1 0		
振球	併残	4 3 3 2 12 36 13 3		
和歌山商		打安点		
〔遊〕	大細	3 0 0		
〔三〕	浦川	3 2 0		
〔二〕	谷	2 0 0		
〔一〕	谷	3 1 0		
〔右〕	林	4 1 1		
〔左〕	田	4 0 0		
〔捕〕	野	0 0 0		
〔投〕	山口	3 3 2		
〔右〕	内	2 1 0		
〔左〕	中	1 0 0		
〔中〕	田	2 0 0		
振球	併残	2 6 4 1 8 27 8 3		
投手		回	打安	振球
松田	5	26	6	2
小山	2	11	2	0
名河内	7	33	9	4
吉中	1	9	4	0

田辺工業		打安点		
〔二〕	木田	2 0 0		
〔左〕	池口	3 1 0		
〔右〕	須	2 1 1		
〔遊〕	須	1 0 0		
〔三〕	和	2 0 0		
〔二〕	川	0 0 0		
〔一〕	山	2 2 0		
〔右〕	松	1 0 0		
〔中〕	本	1 0 0		
〔投〕	中	0 0 0		
〔捕〕	島	1 0 0		
振球	併残	1 4 1 0 4 15 4 1		
市和歌山		打安点		
〔三〕	中山	3 2 3		
〔二〕	山	1 1 1		
〔一〕	根	1 1 1		
〔右〕	戸	3 1 1		
〔左〕	小	3 0 0		
〔捕〕	窪	3 0 0		
〔投〕	尾	0 0 0		
〔中〕	口	2 1 0		
〔右〕	部	2 0 0		
〔左〕	田	2 0 0		
〔中〕	島	2 1 0		
〔右〕	中	3 3 1		
振球	併残	2 2 2 1		
振球	併残	0 8 1 2 7 21 11 7		
投手		回	打安	振球
松本	2	18	6	0
那須	1	11	5	0
小松	1	1	0	0
小赤	4	17	4	1
窪尾	1	3	0	0

時打で1点を返し、2死満塁と攻めたが、後続なく敗れた。 ①第3試合(3回戦) 田辺工業 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 市和歌山 0 3 6 2 x 11 1 (5回コールド) 〔工〕松本、那須、松本 第2試合(3回戦) 伊都10―3日高中津 (8回コールド) 第3試合(3回戦) 智弁和歌山10―0貴志川 (6回コールド) ①20日その他の結果 第1試合(3回戦) 箕島8―6和歌山東 ①22日の試合 第1試合(午前10時) 伊都―智弁和歌山 第2試合(午後0時半) 箕島―和歌山商